

郡市別	受検人員	合格人員	不合格人員	検査員
根室支廳	四	三	一	五六 六六 六七
釧路支廳	七	五	二	六〇 六〇 六〇
宗谷支廳	二	七	一	六三 六四 七一
網走支廳	六	三	一	七〇 七六 七六
河田支廳	四	三	一	七〇 七〇 七〇
旭川市	一	九	八	六六 六六 六七
上川支廳	五	四	一	六四 六四 五二
留萌支廳	四	二	二	八六 八六 五〇
空知支廳	三	二	一	八〇 八〇 五六
浦河支廳	二	一	一	九〇 九〇 九一
膽振支廳	四	一	一	六九 六九 六九
室蘭市	六	三	一	六六 六六 六七

不合格者病類及員数

視力不全七、識色力不全二、耳病二、運動器病一
 發育不全、傳染病及全身病二、呼吸器病一
 花柳病一、視力不全三、識色力不全二、耳病一
 識色力不全一
 体質不足一、發育不全一、身体薄弱一、呼吸器病一
 識色力不全一、眼病一
 發育不全一、耳病一
 發育不全八、視力不全六、識色力不全四
 耳病二、外被病一
 視力不全六、識色力不全一、發育不全一
 傳染器病一
 發育不全一、傳染器一、花柳病一、視力不全三
 識色力不全二、眼病一、耳病一
 發育不全五、呼吸器病一、視力不足三、眼病二
 識色力不全四、耳病一、外被病一
 視力不全一
 視力不全二、耳病一
 視力不全一

身長	不足	不足	不足	不全	養育	身體	得病	癩	神經	呼吸	梅毒	瘰癧	疥癬	皮膚	花柳病	眼	病	耳病	外科	運動	外傷	計	
一	三	一	六	二	五	五	四	三	五	七	一	〇	三	二	一	五	二	一	〇	三	二	一	五

六、地方衛生状況

一、傳染病

目下各地方共衛生狀況一般良好ニシテ傳染病トシテハ少數ノ腸チブス及チチブス
 テリヤレノ散發アルノミナルモ毎年夏季ヨリ秋期ニ亘リ稍々多數ノ腸チブス
 流行アルモノ、如シ而シテ之レガ原因トシテハ生活程度比較的低級ナルト衛生
 思想ニ乏シキニヨル可キナルモ一面地方財源カノ關係上諸種ノ衛生的施設完
 備セザルモ亦一因ナラン

大正十一年中ニ發生セル傳染病ヲ掲グレバ左ノ如シ

地方名	人口	チチブス	腸チブス	赤痢	天然痘	流行性	その他
後志支廳	一九〇、六一	八九	三五四	一	一八	二	
空知支廳	三四〇、二一七	一〇六	二九九	二	三		

宗谷支廳	六九九三四	一四八	一三〇	五五					一七
旭川市	六二、四六一	六〇	八二	六					
上川支廳	二三九、四一三	一六九	一三六	五五					
河西支廳	一三九、四三二	一五六	一〇七	一三					
網走支廳	三〇、〇二二	一〇九	二二五	六					
釧路市	四〇、九三九	三八	一〇	三					
浦河支廳	四七、八九二	二三	五六	六					
膽振支廳	九三、八〇一	三二		一九					

備考其ノ他ノ市及ビ支廳ハ數示詳

地方病及ビ流行病ナシ

ニ、結核、トラホーム、癩

結核及ビトラホームノ蔓延狀況ハ適確ニ之レヲ知ル事至難ナルモ大正八年
結核及ビトラホーム豫防法制定以來幸トシテ之レニ基キ豫防、消毒檢診等

ヲ行ヒ逐年良好ノ成績ヲ擧ゲツアリ

癩亦各地方共現在數名ノ患者アリ各々自宅ニ隔離シ消毒ヲ勵行セシメ
警察官署ニ名簿ヲ備付ケ時々臨檢シテ之レガ監督ニ努メツアリ

三. 公娼及私娼

公娼及私娼數ハ左表ノ如シ然レドモ私娼ハ地方産業ノ盛衰ニヨリ消長ス
モノシテ現今一般經濟界不振ノ爲メ漸次減少ノ傾向アリ罹病率ハ公
娼一四%私娼三〇.一五%ヲ示ス

地方名	公娼數	私娼數
函館市	五五二	一七〇
渡島支廳	二四	三三
檜山支廳	一九	〇
後志支廳	六六	九二
小樽市	二一〇	三〇〇

浦河支廳	釧路支廳	釧路市	根室支廳	網走支廳	河西支廳	上川支廳	旭川市	宗谷支廳	留萌支廳	空知支廳	札幌市	石狩支廳
------	------	-----	------	------	------	------	-----	------	------	------	-----	------

		一	一			一					二	
三	二	一	五	五	六	九	五	六	三	九	七	四
〇	二	八	二	〇	九	〇	二	九	八	九	六	二

				三		二					五	三
		二		三		二	四				八	七
〇	〇	〇	〇	八	〇	五	六	〇	〇	〇	八	七

0163

計	室蘭市	騰振支廳
二二八二	一五五	四九
一三二七	八〇	

四、上水及下水

上水トシテ水道ノ設備アルハ函館、室蘭、小樽、根室等ニシテ他ハ主トシテ井水ヲ使用シ而シテ水道水ハ水質検査ノ成績概テ良好ナルモ井水ノ多クハ從來水質検査ヲ行ヒタル事ナキヲ以テ不明ナルモ大半ハ良好ナルモノ、如シ下水モホ大都市ニ於テハ混凝土或ハ木管ヲ敷設セル所アルモノ一般ニ不完全ニシテ殊ニ冬季ハ積雪ノ爲メ塵汚路傍ニ堆積シ頗ル不潔ヲ極ム

七、在郷海軍下士官兵ノ地方及海軍志願者ニ對スル影響

北海道ニ於ケル海軍在郷軍人ハ實數ニ於テ極メテ僅少ニシテ其ノ内海外ニ出稼シ或ハ海兵團所在地ニ入寄留ヲ爲スモノ多クシテ現住スルモノ

ハ各町村ニ依リ異ナルモニ三名アル所ハ先ツ多キ方ニシテ全ク皆無ノ所アリ
且ツ又各ノ現在ノ職ニ忙殺セラレ從テ地方及海軍志願者等ニ對シ何
等積極的折衝關係ノ見ルベキモノナク尚ホ且ツ在郷ノモノ、多クハ餘リ
優秀ナル人物ニアラザルヲ遺憾トス但シ室蘭、小樽、函館地方ノ在
郷軍人ハ主トシテ汽船ノ乗組者多ク其ノ他日本製鋼所、船渠會社
等ニ就職シ相当ノ地位ヲ得其ノ成績良好ナルモノ多クアリ依テ海軍
志願者ニ對シテハ好感ヲ興エツ、アリ

ハ募兵其他海軍兵事ニ關スル地方希望事項

一、毎年一回以上例令ハ海軍紀念日等ノ時機ニ現役海軍將校ノ軍事講
議、戰爭談ヲ施行セラレ尚海軍生活ノ實寫活動寫眞ヲ映寫シ一
般ニ觀覽セシメル

二、海軍志願兵ニハ適當ノ規定ノ許ニ居住地ヨリ檢査所迄ノ旅費ヲ支給
セラレ

三、海軍生活ノ概略及海上生活ノ趣味深キ實話ヲ集メタル書籍ノ配
布ヲ希望スルモノアリ

四、現役兵ヲシテ成ル可ク歸郷セシメ其ノ際小學校青年團ヲ訪問セシ
メルコト募兵上ニ多大ノ効果アリ適當ノ休暇下賜セラレシコトヲ望ム
モノアリ

五、毎年夏季ノ候軍艦驅逐艦潜水艦ヲ当沿岸ノ各港湾ニ派遣セラ
レ且ツ小學校生徒青年團員ヲシテ短時間乗艦セシメ海軍思想
ヲ向上セシメラレタシ

六、志願兵現役服務期間ノ短縮ヲ望ムモノアリ

七、合格者ハ可成多数採用セラレ度ト云フモノアリ

一寸不可能ノ希望ト認ム

八、下士官以下ノ待遇ノ向上最モ緊要ナリト云フモノアリ

大ニ必要ノ点ナルモ下士官其ノ者ノ價値ヲ人格學術體力ノ点ニ於テ現在ヨリモ向上
セシメシ後ハ大ニ効果アルモノト考テラレ

雜件

北海道ハ山野由來極メテ天産ニ富ミ加フルニ沿海魚族ノ豊富ナル風ニ世
界ノ大漁場ヲ以テ擬メラル而シテ是等自然的物産ハ直接間接ニ工業振
興ノ資料ニ影響自スルノミナラズ豊饒ナル曠原ハ年一年ト人爲的物産ヲ
激増セシメントシテ農作業盛ナリ故ニ物産トシテハ第一ニ農産物次ニ海
産物工産物ト云フ有様ニアリ現時財界不振ニアリト云フモ青年ノ就職
猶ホ豊富ニシテ相當ノ收入ノ途アリ農家ハ氣候ノ關係上一回ノ收穫ニ過
ギザレモ冬期降雪期ヲ利用シ山林ノ材木運搬ニ從事セシムルヲ以テ之レ
又青年ノ需用少シトセズ從テ志願者ノ數モ自カラ多數ヲ得ラレザルハ
止ムヲ得ザルコト且ツ志願者ノ大半ハ農工業漁業方面ニ落伍者一ツハ無
資産ニシテ一定ノ家業ニ從事セラレザル貧困ノ子弟ナリ此等ハ多ク修學
程度低ク人格上ノ素質又良シカラザルノ感アリ

北海道青年ノ教育程度ハ一般ヨリ考察スルト元來北海道ハ新開地方

ノト特別教育規程ヲ設置セラレ其ノ實情ニ適應スルノ教育施設ヲ
爲シツ、アリ益々學事ヲ獎勵シテ就學ノ督勵校舍校具ノ設備ハ完
全ニシテ又教員優遇ノ途ヲ講ゼラレオルヲ以テ中等程度ノ廳立補習校續
々建設セラレオル現狀ニアレハ青年モ該教程迄實習セルモノハ成績良好ナリ
尚ホ北海道ノ青年ノ体格ハ一般ニ農業ニ從事スルモノノ優良ニシテ次ニ漁業
ニ從事スルモノナレト漁業ニ從事スルモノハ眼ニ欠陥多シ商工業ニ從事スルモ
ノハ一般ニ不良ナリ依テ堅實ニシテ然モ體カ強健ナル志願兵ヲ得ルニ農
村ヨリ輩出スルモノヲ選バザル可カラズ

北海道ハ横須賀鎮守府唯一ノ志願兵徵募區ナルヲ以テ第八項ノ各町村
長ノ希望事項中出來得ルヲハ當局ニ於テ實施セラレンコトヲ切望ス殊ニ
活動寫眞(海軍生活)ノ如キフィルムヲ北海道廳ニ貸與セシムレバ如何ナ
ル避地ト雖モ電カアル處ニテ映寫セシメ海軍思想普及ニ甚大ノ効果アリ
當局トシテ容易爲シ得心トト思考セラル之レ宣傳ビラ以上ニ効果アリ

即時實施セラレントヲ切望ス

次ニ第四項ニ於ケル上川支廳ノ志願者前年ニ比シテ増加セル第二ノ理由ノ如キハ海兵團新兵關係教員以上ノ考慮スベキトニシテ彼等壯丁ノ最初ノ印象ニヨリ精神上及ボスト大ナルヲ知悉セリ大ニ留意スベキト認ム

(終)

0169

大正十二年五月三日

横須賀鎮守府海軍志願兵徵募官 松平忠壽
横須賀鎮守府司令長官 財部 彪殿

大正十二年度海軍志願兵徵募報告

一、徵募力班編制

徵募力官 海軍少佐子爵 松平忠壽 (人事部)

(秋田縣) 徵募軍醫官 海軍軍醫大尉 今野源四郎 (病院)

(茨城縣) 令 海軍等看護兵曹 三上 穩 ()

令 海軍等主計兵曹 增川金次郎 (人事部)

令 海軍等看護兵 岡本庄藏 (病院)

令

二、徵募區及期間							類別 項目	三、徵募成績概況				
縣	田	秋	水	機	軍	船		志願兵種	受檢員數	合格員數	不合格員數	採用員數
計	主計兵	看糶兵	船匠兵	軍樂兵	機用兵	水兵	志願兵種	受檢員數	合格員數	不合格員數	採用員數	檢査者對全 體者對全
二一六	四〇	七	七	一五	五五	九二	志願兵種	受檢員數	合格員數	不合格員數	採用員數	檢査者對全 體者對全
一四五	三五	二	七	四	三五	六二	志願兵種	受檢員數	合格員數	不合格員數	採用員數	檢査者對全 體者對全
七一	五	五	〇	一	二〇	三〇	志願兵種	受檢員數	合格員數	不合格員數	採用員數	檢査者對全 體者對全
九五	六	一	七	一	三四	四六	志願兵種	受檢員數	合格員數	不合格員數	採用員數	檢査者對全 體者對全
六七一	八七五	二八六	一〇〇〇	二六七	六三六	六七四	志願兵種	受檢員數	合格員數	不合格員數	採用員數	檢査者對全 體者對全
							記					
							事					

秋田縣 自二月十七日 至三月十三日
 岩手縣 自二月二十三日 至三月十三日
 茨城縣 自三月九日 至三月十六日

	縣	城	茨			縣	手	岩			
主計兵	看護兵	船匠兵	軍樂兵	機關兵	水兵	計	看護兵	船匠兵	軍樂兵	機關兵	水兵
二	一	一	一四	一六	九〇	一八八	二八	三	三	九	七四
一八	三	一	五	六	五八	二一九	二五	一	二	五	四一
三		〇	九	九	三二	六九	三	二	一	四	三三
二		一	一	四	四	八三	四	〇	二	二	三八
八五七	一〇〇〇	一〇〇〇	三五七	五七八	六四四	六三三	八九三	三三三	六六七	五五六	六三四

計

二四五

一五二

九三

九六

六三〇

(註) 赤數字ハ前年成績ヲ示ス

四、地方官吏ニ於ケル海軍志願者獎勵方法及情況

徵募區各縣當局者ハ皆競リテ徵募カ兵員ヲ其豫定ノ配率ニ充
 タレ以テ奉公ノ趣旨ニ副ハレメント極力其方法ヲ講ジテ各郡市ヲ督勵シ又
 町村ノ當事者ハ即ノ示達ニ從ヒ青年團集會期ヲ利用シ或ハ宣傳ヲホ
 スターシ揚子シテ趣意ノ徹底ヲ努ムルニミナラス兵事俸親ラ高齡者及其
 父兄ヲ訪問シ懇心ヲ諭勸誘シ或在御軍人ハ會學校長等援助ヲ賴リ百方
 カヲ獎勵致セリト云フ然レモ是レ一般的情況ニ非ス各縣皆其ニ三郡ニ
 於テハ出張旅費ノ缺乏ヲ理由トシテ無クテ説スノ方ヲ省キ郡内ニ
 三ノ要區ニ出張シ總力カニ其責ヲ塞キ或ハ兵事係カ熱心ニ出張勸誘ヲ
 請求スル兵事ニ冷淡ナル郡長ハ快談ヲ興ハサリト云フカ如クモトアリ
 以テ將來更ニ縣當局ニ對シ督勵ヲ要スルニアリト信ス

五、地方海軍思想普及ノ程度及海軍ニ對スル感情
 秋田、生野、手及、茨城、三縣ヲ通シ海軍思想ノ普及ハ年々一挙ニ向上ノ
 域ニアルハ明瞭ナリト云ヒ其普及ノ程度ノ順位ヲ示セハ茨城、秋田、岩
 手ナリト云ヒ而シテ岩手、縣ノ如キハ頗ル幼稚ニ屬シ軍備制限或ハ華村會
 議ノ如何ヲ識ラサル志願者アリ又時海上生活ハ一概ニ危険ナクモトシ極力
 青年ノ志望ヲ阻止セントスル父兄アルヲ聞ケリ之ヲ要スルニ一般國民ノ海
 軍思想ヲシテ五ノ希望ノ如ク桑幸セルムルハ前途遠大ナリト云ヒ其ノ
 努力如何ニヨリテハ海軍ノ如何ニ我國ニ必要ナル程度ノ思想ヲ養成
 スルハ敢テ困難ノ業ニ非スト信ス然レトモ一方民間思想ノ思動搖ハ
 為政者ノ最モ留意スルべき点ニシテ海軍當局ノ宣傳ト共ニ其振作
 方針ヲ定メ義勇奉公ニ目ヲ徹底ニせんカ為メ努力ヲ現下如キ
 軍人輕侮ノ傾向ヲ防遏シ以テ將來益々勇兵上有利ノ域ニ導キ力

サルカラス但今回経歴セシ各徵募方區ノ通シ海軍ニ對スル感情ハ概ネ良好ナリシハ多少吾人ノ意シ強ニスルモノアリ

六、志願者ノ減少及其理由

徵募カニ應セル志願者ノ數ヲ最近ニ三年ニ於ケル平均數ニ比スルニ約ニ三割ヲ減レルハ主トシテ軍縮ノ聲ヲ意外ニ誇張シテ喧傳セシ結果思想發達ノ地方民シテ其本義ヲ誤解セシメシ因ルニト十一年ニ於ル假郷兵ニシテ恩給等ノ榮典ニ浴セサリシ者カ自己ノ非違シ隱蔽シテ復舊局ノ不公平ヲ嗚ラシ海軍ノ服役ハ到底男子ノ志望ヲ違スルニ由ナシト云フカ如キ不長ナル宣傳シテ之ノアリシ等ニ因ルニト認ム殊ニ陸軍ニ於ル降年點呼執行ノ制ヲ聞テ是レ永久ニ點呼ヲ廢止スルノ前提ナリト誤解シ假ノ之ヲ誤解セザルニ長キニ重要ナル點呼ヲ降年ニ施行スルカ如キハ是レ更ニ軍

備ノ縮少ヲ實現スルノ豫行尤カ故ニ海軍ニ於テモ亦然ルヲ得ス
 果シテ然ラハ将来海軍ニ望シ属スル者ハ到底其志ヲ達スルヲ
 得サルヘシトノ見解ヲ抱クモアルニ至レリト云フ以上列記セル點ハ其
 主ナルモノニシテ此他數年来物價ノ奔騰シテ事業界ハ特大ニ萎
 縮シ来センニ轉近稍々其景氣ヲ挽回セントスル傾向アルニ兼シ地方ニ
 ヲシテハ一躍博利ヲ企圖スル者少シトモ從テ労働者ノ需要ヲ増加
 ス而シテ労働賃銀ノ如キ依然低下セザルカ故ニ比自走テ其労役ニ服セ
 ントス是レ一般ノ事業不振ニ拘ハラズ海軍服役ノ志願者減退
 セル一原因ナリト云フニ躊躇セサルナリ

七、志願兵体格検査ノ実況及地方衛生状況

類別	題目
西縣共ニ志願者ノ体格ニ優劣アリトハ	志願兵体格検査ノ実況
各地共流行病傳染病發生	地方衛生状況

別 項目 高卒以上 尋卒以下 記事	入 合格者ノ 教育程度及 素行家庭生計ノ 状況	岩手縣 志難シ不合格者中比較的減色	岩手縣 志難シ不合格者中比較的減色
		秋田縣 力不念多教ナリシハ注目値スラトキ 公ハ概シ海岸地方者ニ多ク花柳 病ハ值朴ノ地方トテ秋田ニ名アリ シノヒナリ	秋田縣 力不念多教ナリシハ注目値スラトキ 公ハ概シ海岸地方者ニ多ク花柳 病ハ值朴ノ地方トテ秋田ニ名アリ シノヒナリ
		差成縣 志願者中花柳病患者多クア リ外多教志ハ依然トキ一公ニシテ 色減力異常者ニ比較的多教見 多クシタリ体格ハ麻島即ノ際等他 一般ニ良好トシ志難シ	差成縣 志願者中花柳病患者多クア リ外多教志ハ依然トキ一公ニシテ 色減力異常者ニ比較的多教見 多クシタリ体格ハ麻島即ノ際等他 一般ニ良好トシ志難シ
		然蔓延シ居ルカ如シ	然蔓延シ居ルカ如シ

0177

秋田縣	六七	七	四	上記の合計を全額に し男子程度に相当		
岩手縣	六八	四	八	共ニ據ル		
茨城縣	一二六	二	六			
<p>内ニ三名半途ニ中退シ學セル者又ハ水産學校在中ニ在リ アリ各縣ヲ通シ各郡皆好メテ農閑期ヲ利用シ補習學校ニ 設ケテ補習教員ヲ充テシ其高率者施設熱心ノ厚薄 ニヨリ其効果ニ多クハ在リテ觀ル即チ尋常ナル高率以下 上ノ学力ヲ有スルモノアリ又時ニ高率ニシテ既ニ全然 試験問題ノ解讀ニ能ハサル者アル狀況ナリ仍テ更ニ補習 教員ヲ充テシ其高率者ニ對シテ其奨励方法等ヲ勸告シ 置キタリ 素行ニ就テハ概シテ一般ニ良好ナリ又家庭ノ狀況ハ 左表ノ如ク 中下上ノ順序ニシテ其他特記スルキ事項ナシ</p>						
縣別	項目	上	中	下	採用員數	記事

0178

岩手縣	九	二	三	〇	三	九	六
秋田縣	二	五	二	一	一	八	三
秋田縣	九	六	三	二	三	九	五
岩手縣	七	二	七	九	六	八	三
岩手縣	七	二	一	九	六	八	三

九、在郷海軍下士官兵ノ地方及海軍志願者ニ對スル影郷音

郡當局者ノ意見ヲ綜合スレハ左表ノ如クナリ
 調査報告中ノ兵
 事主任ノ執心ナル郡ニ在リテハ極メテ詳細ニ記述シテ其ノ不執
 心ナルニ至リテハ只形式的ニ一時ノ糊塗スルニ過ヤスシ其ノ真相
 シテ規知スルニ甚ム故ニ左表ノ如キニ其ノ心嚆ヲ得タリト云ヒ難シ
 單ニ其ノ一般ノ概況ヲ推知スルキノミ

縣別項目
 影郷音良好ノ
 一般良好ナリトシテ特
 別ニ其ノ善惡ヲ記述スル
 何事場切
 特記スルモノ
 記事

計
 頁

〇、地方ノ希望事項

- (イ) 合格者ハ可及的多數採用サレタシ (出陣ウレハ全部)
- (ロ) 志願兵ハ恩給年限ニ到達スル迄服役センメラレタシ
- (ハ) 志願者ヲ旅費ヲ給サレタシ (或ハ三里以上遠隔ノ地ヲ兼シ志願者等其他ノ改定ヲ望ム)
- (ニ) 時々海軍思想宣傳ノ為講談官 (現役將校) ヲ派遣サレタシ
- (ホ) 海軍在郷軍人中優秀ナル者ニ選抜シテ人率教ヲ海軍志願兵勸誘員ニ煇託シ郡市兵率担当者ト協同協力セシメラレタシ (駐呼林行ノ際指定スル等)
- (ヘ) 現役兵休暇帰省等ニ際シテ海軍ノ趣味等ニ就キ宣傳セシメラレタシ

0180

(1) 志願兵附隊ノ町村吏員ニ旅費支給ノ方法ヲ講セラレタシ
(補助又ハ全部)

(4) 海軍志願兵便覧ハ海軍思想普及ト募兵上ノ効果大
尤モ以テ及的多數配布ヲ望ム

(1) 募兵宣傳「ホスター」ノ町村ニ到達スル時期毎年多ク繰延
シ且ツ其枚数甚ヤ減アリ考慮ヲ望ム

(2) 募兵上有良志願者ヲ得ル為メ給與上優遇ノ方法講
セラレタシ

(1) 簡便點呼ノ時六軍艦シ一三個所ニ派遣シ一般主月年ニ海
軍思想ノ普及ヲ計ルハ勿論隨時派遣シテ一般ニ揮觀ヲ許
可セラレタシ

(5) 町村長ノ發行スル海軍年報証明証ノ様式ハ陸海軍同一様
式ニ改メセラレタシ

日	秋	題	場	所	聴講者	全員数	時限	演	題	記事
二	一		二	一	雄勝町 出町 (私立学校)	地方有志	二五〇	一時間	軍備削減陸軍一般	一般の熱心聴講
二	三		二	三	平塚町 榎手 (私立学校)	地方有志及中 等男女生徒	四〇〇	二時間	同左	右二日星七奉ノ風習録

二 講話

(ワ) 簡閱點呼執行の場合、可及的同一地ニ於テ施行セズ一日百
 名以上執行ノ郡ニ在リ、少クモ二ヶ所ニ於テ施行スル如ク政正
 ヲ望ム而シテ此機會ニ於テ海軍思想普及上ノ講演ヲ望ム

(カ) 聯隊區司令部又ハ師團司令部ニ海軍將校一名ヲ派遣
 シ海軍召集業務其他宣傳等ニ當ラシムル方途ヲ設
 ケラレンコトヲ望ム

(ニ) 海軍ハ陸軍ニ比シ休暇期間長キカ為親戚朋友及家人
 ノ消費スル金額少ナカシムル事アリ休暇期ノ減縮ヲ望ム

三所見 思想ノ変化趨勢其他當時状況之鑑ニ際シテ彼等官出辰 前一部員ノ指定ニ講話材料ノ指定至一講話方針ノ指定 之要ト認ム	縣	縣	城	城	城	城	城	城	城	城
	二一〇	二一〇	二一〇	二一〇	二一〇	二一〇	二一〇	二一〇	二一〇	二一〇
	南秋田郡赤松川 (在小學校)	地方有志及 高小生徒	地方有志及 高小生徒	地方有志及 高小生徒	地方有志及 高小生徒	地方有志及 高小生徒	地方有志及 高小生徒	地方有志及 高小生徒	地方有志及 高小生徒	地方有志及 高小生徒
	三五〇	三五〇	三五〇	三五〇	三五〇	三五〇	三五〇	三五〇	三五〇	三五〇
	二時間半	二時間半	二時間半	二時間半	二時間半	二時間半	二時間半	二時間半	二時間半	二時間半
	軍備制限及海軍一般	軍備制限及海軍一般	軍備制限及海軍一般	軍備制限及海軍一般	軍備制限及海軍一般	軍備制限及海軍一般	軍備制限及海軍一般	軍備制限及海軍一般	軍備制限及海軍一般	軍備制限及海軍一般
	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒
	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒
	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒
	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒	二時(夜) 地方有志及 高小生徒

本年度ニ於テハ例年ニ比シ志願者ノ數減少セル結果縣
當局トシテハ何レモ勸誘ニ努メ各郡ニ對シ豫メ其配當員數
ヲ指示シ極力之ニ到達セシメントシテ數回書類又ハ電話等ヨリ
指導ヲナセルカ故郡市當局ニ於テモ亦其指令ニ從ヒ町村ヲ
鼓舞獎勵セシト雖モ各郡市町村一般ニ尚其努カ力ノ充
分ナラサル所アルヲ認メシシ以テ挨拶或ハ講話ノ席上隨時ニ尚一
層ノ努カ力ヲ依頼シ置キタリ殊ニ本年年度ニ於テ七百九千餘
名ノ多數ヲ要望スル時ニ當リ大ニ縣當局以下ヲ督勵スルハ勿
論尚海軍當局トシテモ更ニ周到ナル宣傳ヲ行ヒ本年年度以後ニ
於テも募兵ノ成績ヲ向上セシムルコトニ充分ノ力ヲ致サル一カラス
是ニ於テ其情況ヲ概觀スルニ茲城、秋田兩縣ハ兵事ニ對スル
熱心ノ度相伯仲スルモ岩手縣ニ於ルモ或郡長ノ如キハ私用ヲ為メ
検査場ニ出頭セズ其他病氣ト假稱シテ欠席セシモノアルカ如

ク縣下一般兵事ニ冷淡ニ状態ニ存シ若シ夫レ之ヲ誘導シ奨
勵ス其ノ推移ニ要スルニ於テハ將來更ニ重要ニキ結果ヲ生スル
虞ナシトセシ守屋茂成縣知事ノ如キハ近時ニ於ケル社情ノ状態
ニ就キ痛切ニ憂慮シ不日開催サルキ地方長官會議ニ於テ
特ニ意見ヲ開陳シ政府トキ採ルキ方策ヲ樹立セラルコトヲ
建言スヘント語レリ

要之次年度要方兵ニ非シ熟慮計畫シ要スルハ言ク俟タスト
雖現時ノ趨勢ニ鑑ミ將來ニ對スル宣傳法待遇法進級陶
汰再服役等其他人事取扱上ニ就キ攻究決定スルハ目下最
大ノ急務ナリト信ス

右
報告ス

終

0185

大正十二年五月十五日

東京府

海軍徵募官海軍少佐 中山道源

大正十二年度海軍志願兵徵募報告

一 地方官公吏ノ海軍志願者獎勵方法程度

- (一) 揭示及印刷物ノ配布ヲナシ且ツ特製ノ「ポスター」ヲ配布シタル所アリ
- (二) 各小學校、在郷軍人團、青年團ヲ利用シ勸誘ニ努ム
- (三) 区内發行ノ新聞ニ依リ勸誘ス
- (四) 個人勸誘ヲ行フ

一般ニ熱心ニ志願兵勸誘ニ努メタルモ募兵布告ヨリ検査期日迄ニ時日ノ余裕ナキ爲充分勸誘ヲ徹底セシムル下能ハサリシト云フ故ニ募兵ノ布告ハ可成検査期日迄ニ相當余裕ヲ以テ行ハルヲ必要ト思考ス

二、地方海軍思想普及ノ程度及海軍ニ對スル感情

華府會議ハ多少青年ヲシテ海軍ニ對スル理解ヲ多カラシメタル感アルモ海軍艦船、海軍々人生活ノ實況ヲ目撃スル機會少キヲ以テ一般ニ海軍思想普及ノ程度ハ尚幼稚ナルモノノ如シ又海軍ニ對スル感情ハ一般ニ良好ナリ

三、志願者ノ著シキ増減及其理由

減少ノ狀況

府割當員數

一六六

志願者總員數

一三一

昨年度志願者總員數

一三五

昨年度ニ比シ減少率

三分

本府ニ於ケル志願者ハ軍備縮少ノ聲火ナルモ拘ラス昨年度ニ比シ僅々數人ノ減少ニシテ殆ト變化ナシト云フモ可ナリ郡區ニヨリテハ志

願者ノ數昨年度ニ比シ略倍加セル所アリ 近時商工業ノ著シキ不振ニ伴フ失業者及軍備整理ニ基ク解雇職工等多ク此等カ生計ヲ維持セシカ爲メ海軍ヲ志願セルモノ多クアリシハ其因ナリト認ム

四 志願者体格検査ノ實況

別紙徵募軍醫官報告ノ如シ

五 地方衛生狀況

別紙徵募軍醫官報告ノ如シ

六 合格者ノ教育程度及素行家庭生計ノ狀況

(一) 合格者ノ教育程度

六七	合格者總員數	
	學歷	中學三年以上在學業 程度以上ノモノ
一〇	認定	同上以下高等小學校 卒業程度以上ノモノ
三〇	學歷	同上以下尋常小學校 卒業程度以上者
二六	認定	
三六	學歷	
三七	認定	
〇	學歷	同上以下ノ者
四	認定	
		記事

各郡區ニ於テ補習夜學校ヲ設ケ義務教育ヲ終リタルニ對シ高等小学
 卒業業程度或ハ其以上ノ程度ノ學歴カヲ附與スルニ努メツツアリ
 又郡區ニヨリテハ特ニ商工業ノ科目ヲ教授スル補習學校アリ何レモ
 相當ノ効果ヲ擧ケツツアリ

(二) 合格者ノ素行

検査場ニ於ケル態度、動作、服装及試問等ニヨリテ察スルニ志願者ノ
 思想ハ概シテ穩健ナリ素行モ一般ニ良好ニシテ身上調査ニ統
 計左ノ如シ

六七	合格者總員數			素行	郷黨風評	認定人物
	優	並	劣			
三	六四	〇	〇	二	六五	〇
				二	四五	〇

(三) 合格者ノ家庭及生計

身上調査ニヨリ統計左ノ如シ

合格者總員數		生計程度			家庭ノ狀況		記 事
六七	三	五	一	三	六	五	
		上	中	下	良	不良	
					養兒素行不 良者	貧乏弱者	
							一

七、在郷海軍下士官兵ノ地方及海軍志願者ニ對スル影響

稀ニ^在郷軍人公會ニ海軍部ヲ設ケ志願者並ニ徵募セラルル者

ニ對シ熱心指導ニ從事スルモノアルモ一般ニ在郷軍人中海軍ニ籍ヲ置

キタル者少ナク且ツ之等モ皆生計中流以下ノモノ多クシテ自己ノ家

業ニ忙殺セラルル爲メ特ニ海軍志願者ニ對スル積極的ノ影響ハ

無キモ地方ニ於ケル此等在郷下士官兵ノ信用ハ良好ナルモノ如シ

八、所見及希望

(一) 募兵用宣傳「ポスター」並ニ海軍志願者便覧等ノ如キモ検査

期日ニ差迫リ配布セラレタルヲ以テ其ノ効果少ナク且ツ勧誘モ

徹底セシムル下能ハサリシト云フ 此等ハ少クトモ検査期日前

相當ニ余裕アル如ク配布スルヲ必要ト認ム

(二) 東京市内ノ如キニ在リテハ募兵ヲ區役所等ノ公報ヲ以テ告示スルノミニテハ充分徹底セズ 都下各區新聞ヲ利用セハ募兵

上非常ニ有効ナルヘシトハ各區ニ於テ略一致セル意見アリ 今

固ノ如キモ出願期日等ヲ熟知セサル為ノ遂ニ出願ノ期ヲ失シ

荏原郡ノ者ニシテ青梅検査場ニ出願シ特ニ追願検査ヲ乞

フニ至レル者アリ 東京市内ノ如キ凡テ階級ニ於テ廣ク新聞

紙ノ購讀セラルル状況ナルニ鑑ミ新聞廣告ノ利用ハ最も有

効ナリト信ス

(三) 海軍思想普及ノ為ノ稀ニ許可セラルル軍艦便乘等ニ関シテハ

其ノ希望者ノ多数ナルニ比シ許可セラルルモノ尠少ニシテ海軍ノ實

生活ニ觸レ之ヲ了解スルノ機會ニ乏シキヲ嘆ス凡者多シ將來可

成多数ノ人ニ對シ其ノ希望ヲ容レシムテ下ヲ希望ス

(念)

東京府青森縣衛生狀況及體格検査室況之調査報告

大正十一年徵募軍醫官 海軍の醫官中佐中村十三

東京府及青森縣共ニ腸チフス散在性ニ流行シ青森縣下
只右郡 トラホーニ患者多數アリ之カ豫防及診療ニ
就テハ所村青年会小學校等夫々大ニ努力セルヲ
認ムルニ尚一般住民ノ衛生ノ智識足ラザルニ多
キヲ以テカ減退ノ傾向ナキヲ遺憾トス其他特記スヘキ事項
ナシ

大正十二年五月五日

青森縣

海軍徵募官海軍少佐 中山道源

大正十二年度海軍志願兵徵募報告

一、地方官公吏ノ海軍志願者獎勵方法程度

(一) 壯丁及青年ヲ集合セシメ官公吏出席シテ海軍志願兵便覽ニ

ヨリ海軍ニ関スル講話ヲナシ勸誘ス

(二) 各小學校長、在郷軍人分會長、青年團長等ニ依頼シ海軍志願ヲ

勸誘ス

(三) 有望ナル青年ニ對シテ個人勸誘ヲ試ミ其ノ父兄等ヲモ説服ス

ム

(四) 郡ニヨリテハ宣傳「ポスター」ヲ作製シ各所ニ配布ス

(五) 休暇帰省中等ノ海軍軍人ニ依賴シシ海軍軍人ノ講話ヲ請ヒタルト
コロアリ

一 家族經濟上ノ見地ヨリ子弟ヲ永ク海軍ニ服役セシムルヲ好マサル父兄
多ク本人ハ海軍志願ヲ希望スルモ父兄ノ同意ナキ為メ目的ヲ達
得サル者多クアリト聞ク故ニ將來ハ青森年ニ對シテ勸誘ヲ試ムルト同
時ニ父兄其他保護者位置ニ在ル者ニ對シ機會アル毎ニ勸誘セシ
ムルハ必要ナリト思考ス

二 地方海軍思想普及ノ程度及海軍ニ對スル感情

大湊及青森市附近ニ於テハ時々艦隊艦隊ノ入泊スルアリテ割合
ニ海軍思想ノ普及ヲ認ムルモ其ノ他ノ地方ニ於テハ比較的交通不
便ナルト且ツ海岸ニ在リテモ軍艦等ノ入泊スルニ是ル良港湾ナキカ
為ノ軍艦見學ノ機會サハ無ク青年ノ海軍ニ對スル理解ハ甚々
貧弱ナリ只大正十年中軍艦陸奥青森港ニ於テ一般ノ觀覽ヲ

許可シタル際地方小學校等ヨリ見學ニ行キタルモノ多ク海軍思想普及ニ関シ多大ノ効果アリタルモノト思ハル

尚ホ屢、斯ル機會ヲ與フルト同時ニ適當ノ方法ヲ講シ海軍思想ノ普及ニ一層努力ヲ要スルモノト認ム

地方人ノ海軍ニ對スル感情ハ良好ナルモ陸軍ニ比シ其ノ服役年限ノ著シク長期ナル爲ノ一家經濟上ノ見地ヨリ子弟ヲ海軍ニ托スルヲ喜ハサル父兄ノ多キハ遺憾トスル所ナリ

三、志願者ノ著シキ増減及其理由

(一) 減少ノ狀況

縣割當員數	二〇〇
志願者總員數	一四四
昨年度志願者總員數	一七六
昨年度比之減少率	一割八分

(三) 減少ノ理由

(イ) 軍備縮少ニヨリ海軍ノ前途ヲ悲觀シタルヲト特ニ昨年来滿期歸郷シタル海軍下士官以下郡ニ約二十名モアル所アリ此等ハ直接間接ニ軍備縮少ノ影響ヲ受テノ感ヲ地方人民ノ腦裡ニ印シ後テ海軍ニ志アル青年モ將來ヲ悲觀シテ志願ヲ断念セルモノアリ

(ロ) 海岸地方ニハ漁業ヲ以テ生活ヲ営ミ居ルモノ多ク斯業ハ壯年ノ男子ニ依ルニアラサレハ爲シ得ル能ハサルヲ以テ却テ他地方ヨリ人手ヲ借リ居ル状態ニシテ又遠ク北海道、樺太、地方ヘモ漁業出稼ニ趣ク青年増加シタルヲト、

(ハ) 諸物價一般ニ下落セルヲ拘ハラス各種産業勃興ノ結果勞働賃金低落セル爲メ有カナル青年ハ此方面ニ吸収セラレ本人モ父兄モ生計上ノ見地ヨリ多年海軍ニ服役スルヲ希望セサルヲト

(二) 近來青年ノ思想物質的方面ニ傾キ一般規律服從ノ制アル

生活ヲ忌ミ物質的待遇厚ク比較的自由生活ヲ希ムスル下

四 志願者体格検査ノ實況

別紙徵募軍醫官報告ノ如シ

五 地方衛生狀況

別紙徵募軍醫官報告ノ如シ

六 合格者ノ教育程度及素行家庭生計ノ狀況

(一) 合格者ノ教育程度

七三	合格者總員數		<small>中學校卒年以上極業 程度以上ノ者</small>	<small>同上以下高等小學校卒 業程度以上ノ者</small>	<small>同上以下尋常小學校 卒業程度以上ノ者</small>	同上以下ノ者	記事
	學歷	認定					
〇	〇	二五	二四	四七	三五	一	一四

町村ニ於テ補習學校、夜學校、簡易圖書館、移動文庫等ニ對シ教育ノ補習向上ニ努力スルト雖青年ノ多數ハ農業ニ從事シ又ハ

(二) 合格者ノ素行
 出稼スルモノ多ク僅ニ嚴冬期間ノ補習教育ヲ實施シ得ル状況ニシテ教育程度ノ向上甚ク困難ナル狀況ニ在リ

検査場ニ於ケル態度、動作、服装其他試問等ニリ察スルニ青年ノ思想ハ一般ニ穩健ニシテ性質素朴、素行一般ニ良好ナルモノ如シ
 身上調査ニヨル統計左ノ如シ

(三) 合格者ノ家庭及生計

身上調査ニヨル統計左ノ如シ

合格者總員數	素行			認定人物
	優	並劣	劣	
七三	一四	五九	〇	二〇
				五三
				〇
				二三
				五〇
				〇

合格者總員數	家庭ノ狀況			記事
	上	中	下	
七三	三	五一	一九	七三
				〇
				一

七、在郷海軍下士官兵ノ地方及海軍志願者ニ對ス影響

在郷海軍下士官兵ニシテ稀ニ講話ヲナシ又ハ志願者勸誘ニ努力スルモノアルモ一般ニ積極的的活動ヲ以テモノ少ク且ツ陸軍ニ比シ其ノ員數少ナキヲ以テ大ナル影響ナキモノノ如シ

八、所見及希望

(一) 本縣下稍避遠ノ地方ニ在リテハ現役海軍將校ノ講話ヲ聞ク機會ノ如キハ極メテ稀ニシテ從テ海軍思想ヲ普及セサルコトハ前既ニ述ブルカ如シ而カモ地方人ノ此等講話ヲ聽カントスル希望ハ相當ニ大ナルモノアルヲ認ムルヲ以テ堂募或ハ點呼等ノ時機ヲ利用シ可成講演ヲ施行スルヲ可トスヘシ

(二) 本縣下ノ如ク交通不便ノ所多ク且ツ検査嚴冬降雪^{暴風}季節ニ行ハルル狀況ニ在リテハ志願者ハ一、二日前ニ検査地ニ到着^後從テ往復ニ相當ノ旅費ヲ費消シ延テ志願者減少ノ因ヲナスト云フ

故ニ合格者ノミニ對シ幾分ノ旅費ヲ支給シ得ルトナラハ募兵
上幾分ノ効果アルヘシ

(三) 某郡長ヨリ左ノ意見アリ参考ノ爲ノ摘記ス

割當志願者數ハ前三年ノ平均ニヨリ各郡ニ割當ツルヨリモ縣ニ
對シテ必要員數ヲ割當テ縣ニ於テ更ニ各郡ニ割當ツルノ方法
ヲ可トスヘシ

(理由) 近來ノ如ク志願者減少ノ傾向アル際割當員數大ノ志願
者ヲ出ス下ハ郡ニヨリテハ甚タ困難トスル所アリ而シテ割當
員數以上ノ志願者ヲ出ス下ハ延テ次年度ニ於テ前三年受給
者ノ平均數ヲ増加スルヲ以テ更ニ一層ノ困難ヲ嘗メサルヘカラ
ス依テ割當員數以上ノ志願者ヲ出ス下ハ郡トシテハ好マシ
カラサル所ナリ即チ假令多數ノ志願者ヲ出シ得ル郡ニ在リ
テモ割當員數ノ範圍内ニ止メテ其ノ以上ノ勧誘ヲ中止スル

九

ノ虞ナキ能ハス寧口縣ニ對シ必要員數ヲ割當テ縣當局ヲ
 シテ各郡ノ狀況ニ鑑ミ適當員數ヲ按配セシムルヲ簡單
 且ツ適切ト認ムルヲ以テナリ

徵募出張中實施シタル海軍々事講話左ノ如シ

場 所	聽 講 者	員 數	講 話 大 要
八戸町 高等小学校	高等小学校職員 児童及有志	七〇〇	海軍ノ任務、海軍充實ノ必要
七戸町 高等小学校	小学校職員、尋常五年 児童及有志	七〇〇	潜水艦概説
蟹田村 尋常高等小学校	小学校職員、尋常五年 児童及有志	二五〇	海軍充實ノ必要
五所川原町 尋常高等小学校	尋常五年児童及有志	五〇〇	歐洲大戰中我艦隊行動ノ概要
水造町 向陽尋常高等小学校	小学校職員、児童 及有志	三〇〇	帝國海軍發達ノ経路概要
鯉ヶ沢町 町役場	高等小学校職員、児童 青年團及有志	三〇〇	華府會議海軍條約概要
弘前市 高等小学校	弘前時報、高等小学校 職員、児童、青年團及有志	四〇〇	海軍用航空機ノ概説 華府會議海軍條約概要 潜水艦概説 軍艦陸奥ニ就テ

(終)

0201

Faint, illegible text, likely bleed-through from the reverse side of the page.

大正十二年四月二十日

横須賀鎮守府海軍志願兵徵募官

海軍中佐 清宮善高

横須賀鎮守府司令長官貳部彪殿

大正十二年度海軍志願兵徵募實況報告

二月二十六日福島縣西白河郡ヲ第一トシ本府徵募巡回日
割表ニ據リ巡行四月十日千葉縣東葛飾郡ヲ最後ニ
豫定ノ如ク検査ヲ終了ス其實況左ノ如シ

福島縣

一地方官吏海軍志願兵獎勵ノ方法程度

一一般人事部ヨリ送付ノ海軍志願兵便覽募兵ポスター各

0203

町村揭示場或ハ停車場等ニ揭示スルト共ニ青年團補習學校等ニ通達ニ検査日約一ヶ月以前ヨリ時々主任郡書記ヲ町村ニ派遣シ團體若クハ個人ニ就キ勸誘ニ努メタリ本縣ハ兵事ニ就キテハ相當ニ熱心ナルモ尙未經費ノ都合或ハ日常事務ノ繁忙ヲ名トナシ軍ニ片ノ通告若シクハ揭示ヲナシタルノミニテ何等努力ノ跡ヲ認メサル者數郡アリレハ遺憾トス

然レトモ東白川郡等ニ於ケルカ如ク郡長兵事主任及郡吏員ノ兵事ニ熱心ナル郡ニ於テハ全吏員攀テ機會アル毎ニ町村若クハ團體ニ對シ軍事講演ヲ行ヒ若クハ町村長ヲシテ豫メ海軍志願兵ニ適スル青年ノ氏名ヲ列記報告セシメ郡吏員ハ此ノ報告ニ基キ其ノ家庭ニ就キ父兄並ニ本人ニ就キ勸誘ニ努メタル所ニ於テ事情徹底シテ

昨年ニ倍スル應募者ヲ得優良ノ成果ヲ得タリ

ニ地方海軍思想普及ノ程度及海軍ニ對スル感情

海軍々人ニ接スル機會少ク海軍ニ關スル事情ヲ見聞スル

機會該ニ稀ナルヲ以テ海軍思想ハ低級ナリ

海軍ニ對スル感情ハ一般ニ良好ナリト認ムルモ之等ハ

單ニ黃海々戰日本海々戰東郷大將廣瀨中佐ト云フ

如キ戰爭ノ狀況海軍ノ偉人傳等ニ關スル極々淺

薄ナル智識ヲ漫然感得セルモノニテ海軍ノ性質事

情任務等ヲ相當ニ了解シテ眞ニ海軍ニ好感者

ニ有ル者ハ極メテ稀ナリト觀察ス

三合格者教育程度及素行家庭生計ノ狀況

合格者教育程度

合格者	中學卒業又ハ	中學三年修業又ハ	尋常學業又ハ	尋常學業又ハ	上記程度以下
總數	之と同程度以上	等卒業者之同程度以上	之と同程度以上	之と同程度以上	

合格者素行調

一八三	四	二二	一三三	七二七	四五	二四六	一	五
員數	百分比	員數	百分比	員數	百分比	員數	百分比	員數

合格者數

一八三	一八一	九八九	二	一一	〇
員數	百分比	員數	百分比	員數	百分比

合格者家庭ノ状況

一八三	一八一	九八九	二	一一
員數	百分比	員數	百分比	員數

合格者生計ノ状況

一八三	二九	一五八	一〇三	五六三	五一	二七九
員數	百分比	員數	百分比	員數	百分比	員數

四志願者ノ著シキ増減及其理由

本縣志願者數ハ大正十年度四六五大正十一年度三九八三

本年度ハ二八七ニシテ十一名減ナレハ昨年度ニ比シ大差ナシ
 下雖逐年遞減趨勢ニ在ルハ事實ナリ其ノ理由トスル所ハ多
 クノ他府縣ト同シク華府會議ノ影響並ニ海軍思想ノ
 不善及ニ起固スルモノト認ム

五志願者体格検査ノ実況

検査地	郡市別	受検人数				合格人数		不合格人数	受検者割合	受検者割合	備考
		十一年	十一年	十一年	十一年	十一年	十一年				
白河町	西白河郡	一七	三三	九	一六	八	七	五三九	一九六	身長不足一名 体重不足三名 発育不全一名 運動器病三名	
棚倉町	東白河郡	一四	三三	一四	一六	〇	七	一〇〇〇	一九六	体格不足三名 発育不全一名 耳病一名 眼病一名 下等一名	
石川町	石川郡	八	一四	二	一〇	六	四	六二七	七二四	発育不全一名 視力不全一名 中級者病一名	
須賀町	岩瀬郡	一三	八	八	五	五	三	六一五	六二五	体格不足一名 耳病一名 中級者病一名	
郡山町	安積郡	二三	七	一四	五	九	二	六〇九	七二四	中級者病一名 耳病一名	
茨城町	耶麻郡	二	一三	一五	八	六	五	七二四	六二五	発育不全一名 中級者病一名 眼病一名 耳病一名	
若松市	北会津郡 南会津郡 若松市	一三	一九	九	一五	四	四	六九二	七八九	耳病一名 眼病一名 (トウキム)	

0207